

2024 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

今回は学年の最後のテストであり、次の中2の橋渡しとなる中1の復習内容を含めた問題構成になっています。

1 長文読解問題（物語文）

ある美容院で美容師の助手をしている女性と、いつもその美容院で髪をカットしている頭部の手術を受ける予定の少女との触れ合いを描いた物語です。長文の量が多く難しい語（句）も使われていますが、物語の内容は理解しやすいものになっています。これまで学習してきた知識を活用して、じっくりと読み取ることが必要です。

2 適語補充問題

現在進行形、過去形に加えて、助動詞 can の用法や命令文の知識を確かめています。2の「人の宿題を手伝う」は、help one's homework ではなく、前置詞 with を含む <help+人+with+宿題> となることを覚えておきましょう。また、3の「買い物に行く」は go shopping ですが、過去形なので、動詞が went になる点に注意しましょう。

3 連立完成問題

4は <A learn+物事(教科)+from B> 「AはBから物事(教科)を学ぶ」を、同じ内容の <B teach+物事(教科)+to A> 「BはAに物事(教科)を教える」に言い換える問題です。(⑦) に入る動詞が teach の過去形の taught になることもポイントです。5は基本的に、一般動詞の文を be 動詞の文に言い換える問題として出題していますが、(⑨) に入る語が一般動詞の makes [cooks] , (⑩) に入る語が名詞の meal [dish] も別解として可としています。

4 書き換え問題

現在進行形の文や下線部を問う疑問詞から始まる疑問文の作り方を確かめる問題です。3の <Whose+名詞> 「だれの～」, 5の <How many+複数名詞> 「いくつの～」は重要なポイントになります。2は難問で、動詞 cut は原形と過去形が同じ形で、主語が三人称単数のときに cut にsがない場合は過去形になるので、didn'tを含む否定文になると判断できるかがポイントです。

5 整序英作文問題

1は頻度を表す副詞 often の位置, 2は please を用いた否定 [禁止] の命令文の語順がポイントになります。5はやや難問で, 時間を表す主語の it と動詞 take 「(時間が) かかる」を用いた, 所要時間を尋ねる How long does it take~? 「どのくらいの時間がかかりますか」の知識が必要になります。

6 誤文訂正問題

英文の誤りを見つけて訂正する問題は, 正しい文法と語いの知識が必要です。2の前置詞の使い分けの知識を必要とする問題や3の動作動詞と状態動詞の区別を問う問題, また, 5の<How many + 複数名詞 + 一般動詞> 「何人の～が…しますか」といった, 疑問詞 (+ 語句) が主語になる疑問文に注意しましょう。

7 語い問題

1の eight (数字の8) と ate (eat 「食べる」の過去形) の同音異義語の問題や5の make a mistake [mistakes] 「間違いをする」の熟語の知識を問う問題は, この時期ではやや難問かと思います。4は February 「2月」を正しいスペルで書けるかどうかを問う問題になっています。

2024 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

中1の「平面図形」までの分野から幅広く出題しました。解法暗記だけでは対応できないような見慣れない問題も、例年通り多数出題しました。これらの問題はいずれも、状況を正しく把握したうえで、何が問われているか、関係を数式でどのように表現すればよいかを考える問題です。正しい計算処理の方法のみならず、数式や図を利用して状況を整理する力や考察する力を身につけましょう。

1 計算問題（正負の数、文字式、方程式）

基本的に忠実に計算を進めれば完答できる難易度の計算問題を出題しました。あせっていたり正しい手順が身につけていなかったりすると、累乗の計算、カッコを外す、分母を払う、数値を式に代入する、といった式変形ミスが生じやすくなってしまいます。速く正確に計算しきれぬ盤石な力を身につけてください。

2 小問集合（反比例、文字式の表し方、方程式の利用、おうぎ形）

様々な現象や関係を、数式を用いて抽象化できるかを問う問題を、小問形式で幅広い分野から出題しました。(1)・(3)のような日常生活における数学的題材をモチーフとした問題も意図的に出題しています。また(4)では、円の半径がわからないところから、弦の長さを利用して半径の2乗の値を求められるかを問いました。求めたいものは何であるか、どのような関係が得られるかを整理して処理しましょう。

3 約束記号（小数、不等号）

小数第1位を四捨五入する約束記号に従って、正負の数を適切に処理できるかを問う問題です。特に負の数においては、大小関係を間違えやすい受験生も多いことでしょう。文字を用いた抽象的な数式の扱いと合わせて、数的感覚を養っていきましょう。

4 方程式の利用（速さ）

速さについて方程式を立式する文章問題です。状況を正しく把握し、距離・速さ・時間の間にある関係について適切に式をつくれるかを問いました。特に(3)では、どちらに走っても出会う地点が同じであることがわかるかが重要です。状況をイメージし、細かい数値を方程式から求めることができているか確認してください。

5 平面図形（おうぎ形，回転）

正方形からおうぎ形を取り除いた平面図形の周りを円が1周する問題です。1周する円の半径が大きくなるとき、 X の曲線部分に沿って動く際に不動となる点があることに気づけるかが重要です。図をいくつか書くことで動くようすをイメージし、それを適切な根拠によって裏づける能力が欠かせません。

6 比例と反比例のグラフ（格子点）

比例と反比例のグラフに囲まれた部分にふくまれる格子点の個数を数える問題です。 x と y の積が一定となる反比例のグラフにおいては、比例定数の約数の個数が格子点の個数に等しいことを見抜く必要があります。また、グラフを適切に図示した上で、格子点を規則正しく数えることが重要です。

2024 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

一年生最後のテストとして、読解・記述の総合力を試すことを目的とすることに加え、今後の重要な得点源となる古文の初歩的な問題を出題しました。二年生に進級するにあたり今後の課題を明確化し、入試本番を見据えた全ジャンルの見通しを立てられるようにすることが出題の意図です。知識問題は少なく、文章内容や登場人物の心情把握につながる箇所を中心に設問を設定しています。文章自体も難解なものはないので、一年生の締めくくりとして、基礎的な読解力がついているかどうかを知る目安としてください。

㊦ 漢字の読み書き

読み・書きともに、標準的なレベルの問題です。(3)「概」・(4)「隅」のように、へんの違う漢字が多く紛らわしいもの、(7)「名残」のように特殊な読みをするものは、特に注意して覚えるようにしましょう。また、(1)「矛盾」はその語源となった故事も含めて覚えておきましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 田島木綿子『クジラの歌を聴け』

獣医学者による、母乳の成分は動物によって異なるということを説明した文章です。今回の文章のように二つのものを対比して説明する文章では、それぞれの特徴を整理しながら読むようにしましょう。問六(2)の記述は、本文中の該当する箇所の直後の内容を押さえればよいという点では易しいのですが、文字数が多いのでまとめ方に工夫が必要です。また、押さえる要素が多いので、点数が取れなかった人は、どの要素が押さえられていなかったのかを確認するようにしましょう。

㊦ 小説文の読解…………… 岩井圭也『付き添うひと』

主人公の弁護士であるオボロが、「付添人」として様々な家庭と関わっていく物語です。リード文に「誹謗中傷」・「個人情報の開示請求」などのやや難しい表現がでてきますが、問題を解くうえでは重要でないもので、これらの表現に引きずられず、オボロの思いと、それとは食い違う亜佐子や彰平の態度を本文からしっかり読み取りましょう。問二の記述問題は、そのような食い違いがはっきりわかるよう、本文の記述を用いてまとめます。問三も含め記述問題は、何を問われているのかを正確に理解し、それに合った的確な答え方をしよう心がけましょう。問九のような登場人物について把握する問題は、雰囲気では解かず、それぞれの人物の言動を根拠にして判断するようにしましょう。

四 古文の読解…………… 浅井了意『浮世物語』より「医学正伝の作者を知らざる事」

やぶ医者である通齋が、聞書きをすべて仮名で書いていたために失敗したというエピソードです。浮世房と通齋の会話が話の中心なので、本文の記述がどちらの言動なのかをしっかりとさえながら読みましょう。また、この話を理解するには「ごうとくろうじん」という聞書きと「後藤九郎二郎」のつながりに気づく必要があります。書いてあることを文字通り受け取るだけでなく、状況を実際にイメージしながら文章を読むことの大切さに気付いてほしいと思います。